

## 名古屋大学ヘルプデスク 2024 年度活動報告

### 1. ヘルプデスクとは

#### 1.1. 概要

ヘルプデスクは、名古屋大学から公認を受けている留学生支援・国際交流団体である。活動内容は大きく 3 つに分かれており、NUPACE 学生を中心とした留学生の受入活動、国際棟ラウンジでの活動、そしてイベントの企画・運営である。受入活動では、担当する宿舎にて留学生が日本で新生活を始める際の支援を行い交流する。国際棟ラウンジでは、留学生の相談窓口としての役割を果たしており、学生生活や日常生活を支援することで日常的に留学生と交流している。また、定期的にイベントを企画し、多様な文化を持つ学生同士の交流の場を提供している。

#### 1.2. 理念

私たちの活動の目的は、二つある。一つは、留学生が快適に充実した生活を名古屋大学で送ることができるように支援することである。もう一つは、日本人学生や留学生など多様な背景を持つ学生同士の国際交流や異文化理解を促進することである。

#### 1.3. 構成員

名古屋大学の学部生から大学院生まで総勢 101 名で構成されている。

### 2. 2024 年度活動報告

#### 2.1. 活動概要

文責：樋江井

今年度の活動の概要を以下の表にまとめた。今年度は、例年通り学期初めに入寮支援/買い物ツアーとウェルカムイベント/夕食ツアーを開催し、学期中には春学期・秋学期、それぞれ 3 回ほどイベントを開催した。また、表に記載されている内容以外に、週に一度のミーティング、国際棟一階のロビーにて留学生からの質問対応など、学期を通して活動を行った。春学期には、新入生向けの合同説明会に参加した。

月	内容	月	内容
4 月	入寮支援/買い物ツアー, ウェルカムイベント/夕食ツアー	9 月	入寮支援/買い物ツアー, ウェルカムイベント/夕食ツアー
5 月	リトルワールドツアー	10 月	ハロウィーンイベント
6 月	ボウリングイベント	11 月	紅葉ツアー
7 月	七夕イベント  (NUFSA と合同企画)	12 月	Nupace ウィンターパーティー
		1 月	クイズ大会

## 2.2.通年の活動

### (1) ミーティング

活動について話し合いを行ったり、計画を立てたりするために、国際棟の教室を借りて週に 1 回程度昼休みにミーティングを行った。昨年度と同じようにオンライン会議ツールである「Zoom」を利用し、ハイブリッド形式のミーティングを実施した。参加メンバーはオンライン参加・対面参加を自由に選択することができ、メンバーのスケジュールに応じてより柔軟にミーティングに参加することができた。

### (2) 国際棟ロビーでの質問対応

名古屋大学東山キャンパス国際棟 1 階ラウンジに、机 3 台、椅子 6 脚、ホワイトボード 2 つ、物品庫 1 段からなるヘルプデスクコーナーがある。国際棟 1 階のヘルプデスクコーナーにおいて、ヘルプデスクメンバーが留学生からの留学生活中の質問や相談について対応した。

(質問内容の具体例：手続きの場所がわからない、日本料理を学べるところを教えてほしい)

## 2.3. 春学期の活動

### (1)入寮支援/買い物ツアー

文責：孫

#### ・入寮支援

新規交換留学生(NUPACE 生)の入寮支援をサポートする活動であり、名古屋大学国際学生寮、国際嚶鳴館で実施。中身については寮生活における各種注意事項、手続きの情報を日本に来てまもない留学生と共有し、部屋の案内を行ったりした。前年度秋学期の反省を生かして、情報を各自確認できるように電子化して QR コードを配布したりした。

#### ・買い物ツアー

入寮支援のサポートを受けた新規交換留学生 50 名が最低限の生活用品を調達するために、ヘルプデスクのメンバーの引率で八事イオンへ赴いた。

留学生から最も評判がよかったのは、安価で高品質の製品が手に入る”seria”であった。買い物の後、新規留学生の希望者はヘルプデスクのメンバーや継続生と夜ご飯の時間を楽しんだりした。

### (2)ウェルカムイベント/夕食ツアー

文責：孫

#### ・ウェルカムイベント

毎学期恒例、名古屋大学に来た交換留学生のために名古屋大学や名古屋をもっと知ってもらうために種々の出し物をするイベント。参加者は 70 名程度だった。名古屋大学クイズや日本紹介プレゼンテーションが出し物としてあった。クイズの方は参加者が積極的に関わっていたが、ヘルプのメンバーが前でスピーチをする出し物では、話を聞くことよりも参加者同士の交流が盛んに行われた。よって今後は参加者全員が活動できるような場を多く取り入れるべきであろう。

#### ・夕食ツアー

ウェルカムイベントの後、留学生に名古屋大学の学食を知ってもらう、交流を深めることを目的にヘルプデスクのメンバーが引率し、北部食堂でグループに分かれて夕食を食べた。参加者は 70 名程度であった。食堂のスタッフには宗教的タブー等にも配慮してメニューを用意していただいた。一人一人その場でメニューを見て決めて注文をしていたためレジがかなり混雑し、秋学期ではその反省を踏まえてメニューの注文方法を改善した。

### (3)リトルワールドツアー

文責：上川

ヘルプデスクのメンバーと交換留学生からなる約 6 人のグループで愛知県犬山市にあるリトルワールドに行った。リトルワールドは、日本や海外の伝統的な家屋や建築、民族文化に関する展示を行う野外博物館である。名古屋付近の観光地を紹介するだけでなく、留学生たちが自分の出身国の文化を紹介し合うことで交流を深めてもらうことを目的として開催した。参加者が自分の出身国のエリアを紹介したり、初めて食べる海外の料理を楽しんだりと大いに盛り上がった。大型連休明けということもあってか、参加者はそれほど多くなかったが、その分参加者同士が深く交流できた。

### (3)ボウリングイベント

文責：石川

ヘルプデスクと NUPACE 生合わせ 20 名ほどで本山のボウリング場にてイベントを行った。4-5 人で 1 レーンを使用し、少人数で親睦を深めることができた。1 ゲームごとにチームメイトを変更し、日本人学生も留学生もなるべく多くの人と交流できるよう努めた。

日本人学生の参加も多かったため、ヘルプデスク内の先輩後輩の交流を深めることができた。春学期が始まって落ち着いてきた頃に楽しくスポーツができるようなイベントを開催し、いろいろな人とコミュニケーションできるような機会を提供できた有意義なイベントだった。

### (5)七夕イベント（NUFSA と合同企画）

文責：石田

7 月上旬、NUFSA との合同企画として、国際色豊かな交流イベントを開催した。このイベントは、G30 および NUPACE プログラムに参加する学生を対象とし、親睦を深めるとともに、日本の伝統文化である七夕に触れる貴重な機会を提供することを目的として企画された。

イベント前半ではアメニティハウスにて、30 名ほどの参加者が思い思いの願いを込めた短冊をしたためたり、趣向を凝らした提灯を制作したりと、七夕の風習を体感できる多彩なブースを展開した。参加者たちは、各々の興味に惹かれるブースを巡り、創造性あふれる作品を熱心に制作していた。イベント後半では会場を川名公園に移し、手持ち花火を楽しんだ。日本の夏の風物詩とも言える線香花火の儂くも美しい光景に、参加者一同、感嘆の声を上げていた。

## 2.4.秋学期の活動

### (1)入寮支援/買い物ツアー

文責：樋江井

#### ・入寮支援

9月下旬、交換留学生（NUPACE生）が国際嚶鳴館に入寮する際に、ヘルプデスクは入寮手続きの支援を行った。具体的には、入寮届の記入や寮の簡単な説明などを寮の管理人の方や居住学生と協力して行った。台風の影響で、一部の学生が入寮予定日に間に合わないというトラブルもあったが、全体としてスムーズに入寮の手続きを進めることができた。

入寮支援は、例年、留学生にとって、初めての名古屋大学の学生との交流の機会であり、また名古屋大学の学生にとっても、新しい留学生との交友を築くよいきっかけとなったように思う。入寮支援には、留学生が安心して日本での学生生活を始められるように支援するという意味合いもあるが、それ以上に異文化交流の機会となっていると感じた。

#### ・買い物ツアー

入寮支援と同日、夕方に八事のショッピングセンターまで、30名ほどの留学生と一緒に生活に必要なものを買出しに行く、買い物ツアーを催行した。買い物ツアーでは、特にグループなどは設定せず、現地についたところで、自由解散とした。ヘルプデスクのメンバーは、主に日本での生活について質問に答えたり、必要なものについて留学生にアドバイスをするなどした。

### (2)ウェルカムイベント/夕食ツアー

文責：石川

#### ・ウェルカムイベント

9月から名古屋大学にきたNUPACE生の歓迎パーティーを行った。参加者は60名ほどだった。留学生同士の交流の機会を作るために自己紹介ビンゴを行い、日本人学生と留学生だけでなく留学生同士の会話のきっかけを作ることができた。また、名古屋大学の紹介動画の放映、名古屋大学や名古屋に関するクイズを行い、来日して間もない留学生に少しでも名古屋のことを知ってもらうことができた。

春学期のNUPACE生にとっては入寮支援後の初めてのイベントだったため、なるべく多くの人とコミュニケーションが取れるようなイベントにした。半年、もしくは一年間の留学期間をともにする留学生仲間を作るよい機会を提供できたように感じる。

#### ・夕食ツアー

ウェルカムイベントと同日北部食堂にて 17:00 から夕食ツアーを開催した。ウェルカムイベントと同じく参加者は 60 名ほどだった。場所の確認だけでなく、食事の選び方、頼み方を一緒に確認することができた。ウェルカムイベントに参加した人ほぼ全員が参加したので大人数での移動、食事になった。事前にヘルプデスク学生が食堂にメニューを確認し夕食券を作成することにより、口頭で注文する必要がなくなりスムーズに進行できた。

ウェルカムイベントで交友を深めた学生同士がさらに仲良くなるよい機会だった。ベジタリアンの選択肢が少ないため、次回以降は事前にどのメニューがベジタリアンか確認して周知しておく必要があると感じた。

#### (3)ハロウィーンイベント

文責：上川

秋学期から名古屋大学に来る交換留学生に対して、他の留学生や現地学生と交流を深めてもらうことを目的として、ハロウィンイベントを開催した。参加者は約 70 名ほどだった。イベントでは仮装コンテストを開催し、イベント参加者が日本のハロウィンにおける仮装文化を体験できるようにした。日本のアニメや漫画などのキャラクターの仮装をする参加者も多く、好きな作品の話で盛り上がる様子などが見られた。参加者が予想よりも多く、アナウンスなどが全体に聞こえないなどのトラブルはあったが、ヘルプデスクメンバーが呼び掛けて回るなどして対応し、大きな混乱はなかった。

#### (4)Nupace ウィンターパーティー

文責：孫

このイベントは NUPACE 生が主幹となって企画したもので、春に帰国する NUPACE にとっては最後の大型対面イベントとなった。参加者は 50 名程度であった。ヘルプデスクのメンバーは参加者、もしくは出し物をしてイベントに携わった。様々な催し物がある中、外部にケータリングを頼んだりして、心もお腹も満たされる会となった。参加人数が多い分、準備も片付けもスムーズに進み、このイベントの幹事である NUPACE 生もイベントの成功を喜んでいた。

#### (5)紅葉ツアー

文責：樋江井

11 月中旬、秋も深まってきたころ、紅葉ツアーを熱田の白鳥庭園で実施した。参加人数は 10 名程だった。当日は好天に恵まれ、絶好の紅葉狩り日和であったが、肝心の紅葉は進みが悪く、色づきは期待したほどではなかった。しかし、紅葉がなくとも、白

鳥庭園の植栽はそれだけで美しく、日本庭園の魅力を楽しむことができた。参加した留学生は日本庭園に行くのが初めてという学生が多く、彼らにとって日本の文化の一つである日本庭園の中を散歩するという経験はとても新鮮なものであったのではないかとと思われる。



#### (5)クイズ大会

文責：樋江井

1月中旬、国際棟にてウェブアプリ「Kahoot」を用いて、クイズ大会を実施した。参加人数は10人程度であった。クイズの内容は名古屋や日本文化、英語文法など多岐に渡る内容を出題した。優勝者には賞品を用意した甲斐もあってか、大会は非常に盛り上がり、多くの参加者にとって楽しめるイベントとなった。ウェブアプリ「Kahoot」をイベントに用いるというのはヘルプデスクにとって、おそらく初めての試みであったと思われる。近年、こうした便利なツールがネット上に登場しているので、適宜活用していくことも今後の活動を盛り上げるために非常に有効なのではないかと感じた。



### 3. 資料

#### 3.1. 団体設立

設立年月 2005 年 4 月

設立場所 名古屋大学留学生センター1 階 105 号室（海外留学室）（名古屋大学国際棟 1 階） 設立教員 名古屋大学留学生センター短期留学部門助手 筆内美砂（名古屋大学グローバル・エンゲージメントセンター国際教育チーム）

設立協力 名古屋大学留学生センター教育交流部門（名古屋大学グローバル・エンゲージメントセンター支援チーム）

#### 3.2.沿革

2005 年度	学生が参加を呼びかけられる
	「留学生からの質問対応」開始（2 週間に渡り実施）
2006 年度	「留学生からの質問対応」活動期間を 3 週間とする
2008 年度	「留学生からの質問対応」活動後にイベントを初開催。「書き初め会」開催



2009 年度	国際嚶鳴館「出張ヘルプデスク」開始
2010 年度	名大祭「フリーマーケット」開始
2011 年度	生協ダイニングフォレスト「夕食ツアー」開始
2012 年度	国際嚶鳴館「ウェルカムパーティー」開始
2018 年度	平成 30 年度名古屋大学総長顕彰採択
2019 年度	Instagram「NU HELP DESK」開始
	国際棟ラウンジ「第 1 回ヘルプデスク同窓会」開催
2020 年度	YouTube「Nagoya University HELP DESK」開始
	Twitter「NU HELP DESK」開始
	LINE 公式アカウント「HELP DESK」開始